



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木修一郎
幹事 鈴木 雅之
SAA 矢代 昭雄
会報小委員長 児玉 健二

2010～2011年国際ロータリーのテーマ

○例会日 毎週水曜日 (12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

第 2405 回 例会 平成 23 年 4 月 20 日 (水・晴)

会員卓話

矢代 昭雄 会員

— 今月はロータリー雑誌月間です —



4つのテスト
関根 昭蔵 会員

◎会長報告 - 鈴木修一郎会長



皆さん、今日は。今日も私は作業服で参加させて戴きました。今日、ホテルミドリさんに来るとガラスにテーピングがしてありました。私は戦後派ですので戦中派の会員にはこのような光景は懐かしく思えるのではないのでしょうか。このように自己防衛しガラスが飛散しないように日頃から準備しておかなければならないと思いました。まだ、余震が続いており大変不安な毎日をご過ごしております。まさか勿来の井戸沢断層が有名になるとは夢にも思っていませんでした。4月11日と12日の地震が湯の岳、黒田、井戸沢、勿来の8キロメートルの眠っていた断層が動き出した為におこりました。その余震が東日本ばかりではなく、長野や新潟を含む東日本を揺り動かしているのかなと思います。2～3日前大潮で満月でしたので鮫川へ見に行きました。鮫川の河川敷が海水浴場になってしまうのではないかと位波が押し寄せていました。地盤が下がったのではないかと危惧する所です。それから先週もお話をしましたが、4月23日にソフトテニス大会が雨情の里で行われる予定ですが、いわき地区の学校は部活動自粛となっており参加はいたしません。放射能の数値によって部活動が制限されるということを知ると非常に残念に思います。私は植田の商店会もやっております5月5日の歩

行者天国を開催しようと着々と準備をしております。消防署さんと南署さんへ話を持ちかけたところダメかなと思ったら地域の為なら協力しますと返事を戴き前向きに検討して戴くことになりました。1日でも早く今までの生活サイクルに戻れるように明るい活力を出すことも必要だと思っています。戦後60年以上経過していますが、東日本も同じように新しい時代の新しい復興を私達のネットワークと英知と勇気で切り開いて行かなければいけないと思っています。それから先週4月14日旧クレハ鷺内社宅跡地で国際ロータリーから届いたシェルターボックスの引き渡しを行いました。1つは平工業高校さんにお渡しし、残りの7つは災害ボランティアセンターへ貸出すことになりました。いろいろな事に使えるシェルターですので活用して戴きたいと思っております。私からは以上です。



出席状況 正会員数 57名 本日の出席率 62.50%

◎幹事報告 - 鈴木雅之幹事



- ・ガバナー事務所よりゴールデンウィークのお休みの連絡が入っています。
- ・地区協議会の日程が変更になり6月5日行う予定です。
- ・いわき桜ロータリークラブの伊藤会長の義理のお父様をご逝去されました。4月24日通夜、25日告別式の予定です。
- ・いわき鹿島ロータリークラブより4月のプログラムが届いております。
- ・いわき常磐ロータリークラブさんより例会場変更案内が届いています。古滝屋さんから源太寿司本店3階でしばらくは行きますという連絡が来ています。

◎各委員会報告

◇出席委員会

— 越田和小委員長

本日の出席状況をご報告致します。会員数57名、出席者数30名です。



◇親睦活動委員会 - 佐藤政司小委員長



誕生祝の花ですが入荷状況や交通事情により遅れてしまいますが、必ずお届け致しますので宜しくお願いします。それから観桜家族例会が中止になりましたのでそれに代わる催しをどうするか理事会で宜しくお願い致します。

◎会員卓話 - 矢代昭雄会員



皆さん、今日は。皆さんには長い間休ませて戴き大変ご迷惑をおかけ致しました。私がいけない間に思いもよらない大災害が発生してしまい、ここにいらっしゃる皆さんも多かれ少なかれ被害をお受けになったものと思います。心からお見舞い申し上げます。私も地震を予期して逃げ出した訳ではありませんが、1月23日に横浜港から出港致しました。船の旅は経験が無かったので安い旅を見つけ約3ヶ月の旅に出ました。まず、タヒチに向かい約20日間何も無い海だけ航行しました。その間どうやって船内で過ごそうと思いましたが、心配しなくても3食昼寝付きで天国でした。しかし、あの広い海に擦れ違う船や島が無いのには驚きました。聞いてみると東周りは通常行わず、普通はアジア周

りで行くそうです。タヒチに着くまで見えたのはイルカと飛び魚位でした。タヒチに着くと腰蓑付けた人がいる田舎かなと思って上陸しましたら大都会でビックリしました。有名画家の美術館があり思っていた以上に大きい島でした。島を1周すると次の目的地ペルーに向かいました。とにかく船のスピードが遅く、16ノットから17ノットで航行していますので時速30キロから40キロのスピードです。ペルーは以前行ったことがありますのでマチュピチュへは行かず、日系3世が経営している農場見学に行ってきました。その農場はリマから300キロ離れた所にあり、砂漠地帯で1日中砂煙が吹いておりました。水路はちゃんと整備されて先祖は九州や沖縄から移民したそうです。そこで食事を食べることになったのですが、外で食べるので周囲に家畜や犬や猫が沢山いて大変汚かったです。地元料理が運ばれて来るとアツと言う間に小さなハエが集り払っても払っても集っていました。リマの海岸線は素晴らしいリゾートになっていて大変格差が広がっているようでした。リマを出てパナマ運河へ入ると水路を1段階ずつ上がってカリブ海側へ下がって行きコロンビアへ向かいました。コロンビアはゲリラが出て危険だと聞いていましたが確かに警察官や軍隊が装甲車に乗って小銃を携帯し、うろうろしておりました。それからカリブ海にトリニダード・トバコという島があります。そこに行く私達の為に歓迎のお祭を盛大にやってくれる団体があるようです。広い広場にさまざまな民族衣装を着て地元料理を作ってくれて今まで参加したことの無い程のお祭でした。それから大西洋に出て地中海へ向かいグランカナリアというフランス領の島へ寄り観光をしました。もう1度行ってみたいと思う程良い所でした。それからモロッコに上陸しバスに乗っているとメールが届いて日本のそれも東北で大震災が発生したと知らされました。途中の店でお茶を飲んでいるとテレビでジャパンツナミと報道がされており東松島で電車が流されている映像が流れていました。これは大変だと宮城から来ている人もいましたので、ここから日本に帰るしかないと思いましたが船から降りられず様子を見て電話をかけていましたが、全く繋がらず4日目に会社へFAXを送るとその日に返信が来て会社は水が入りダメです。瓦が落ち自宅も半壊です、と連絡が入りでもどうにかなるだろうと皆と楽しい旅を続けることになりました。